

第7回 JIN スポーツ外傷・障害勉強会
presented by JIN 整形外科スポーツクリニック
ブレイクスルーした難治性グロインペインの診断とリハビリ・予防
～さらば鼠径部痛症候群～

日時：2021年5月15日(土)17:00～18:30 (5月16～30日まで録画配信)

主催：一般社団法人JINメディカルクラブ

協賛：セルソース(株)

講師：仁賀定雄(MD) 司会：牧野孝成(PT)

《ZOOM》

ZOOM ウェビナーによる Web オンラインで開催します。演者・司会者のみが画面に映ります。受講者は画面に映ることはありません。ご質問は講演中から Q&A にご記入ください。オンラインセミナーの Q&A では多くの方から活発な質問をいただける利点があります。その利点を活用するため、質疑応答時間を長めにとります。

5月16～30日に質疑応答を含む録画を何度でも視聴可能です(巻き戻し、早送り可能です)。

※録画保存、転送、動画アップ、動画使用することは不可とさせていただきます。

《内容》

スポーツ選手のグロインペイン(鼠径部痛)は復帰が長引き診断・治療に難渋する例があります。復帰が長引く難治性グロインペインは世界で未解決の問題とされており、世界のスポーツ整形外科医学会で必ずテーマになっています。

我々の経験では、1990年代には画像検査で病変を診断できないグロインペインが85%でした。2001年以降、器質的病変を診断できないグロインペインを機能不全から痛みを生じる「鼠径部痛症候群(グロインペイン症候群)」と名づけ、機能不全を評価して改善するリハビリで復帰・予防してきました。

2013年にJIN整形外科スポーツクリニック開設後、問診、理学所見をとった上でMRIを立ち会って撮影した1091例の結果を解析した結果、ほとんどの症例で器質的病変が診断可能になりました。さらにMRIで認めるcleft sign(内転筋恥骨付着部微細損傷のサイン)は復帰が長引くことに有意に関連する独立因子であることを見出し、cleft signはpubic plateの破綻を反映していると考察した国際論文(KSSTA 2021)がpublishされました。

難治性グロインペインの病態診断とリハビリ、予防はブレイクスルーを果たしました。

器質的病変を診断できないことを前提とする「鼠径部痛症候群」に別れを告げる時が来ました。鼠径部痛症候群の概念で培ってきた機能不全の評価と改善によるリハビリと予防は今後も重要な役割を果たし、さらに進歩します。

pubic plateの破綻まで進むと難治性になる(関連が深い)ことを示すことができたので、

問診・理学所見・リハビリ・予防でなすべきことは明確になりました。

本勉強会ではMRIの撮影方法、読影方法、解剖学的付着部の解説も行います。

参加して下さる皆様の日々の診療、リハビリに少しでもお役に立てれば幸いです。

一般社団法人JINメディカルクラブ 仁賀定雄

17:00～18:00 講義

18:00～18:30 質疑応答

終了後アンケート回答にご協力をお願いします。

《参加申込》

参加費(税込み):2,500 円

【申込フォーム】

<https://coubic.com/jin-medical/792489>

《参加申込・参加方法に関するお問い合わせ》

社)JIN メディカルクラブ事務局 E-mail : jin.medical.club@gmail.com

《当日緊急時連絡先(※当日 15 時以降のみ使用可)》

社)JIN メディカルクラブ事務局 電話番号 : 070-3205-5347

★今後の勉強会予定(開催順序は検討中)

《グロインペインのリハビリ実技:評価》 機能不全の評価方法

《グロインペインのリハビリ実技:治療》 機能不全の治療方法

《グロインペインのリハビリ実技:トレーニング・予防》 機能不全のトレーニング・予防方法

《肉離れの診断とリハビリ:基本》 肉離れの予後を予測して再発を予防する

《肉離れの診断とリハビリ:応用》 肉離れの予後を予測して再発を予防する

《肉離れの診断とリハビリ:手術》 肉離れの手術方法とリハビリ

《ウロキナーゼによる血腫溶解穿刺療法》 手術しないで血腫を除去する

《捻挫・打撲の初期治療とリハビリ》 アイシングより大事なことは？

《PF軟骨損傷の診断とリハビリ》 問診と診断・リハビリ・予防

《膝過伸展損傷の診断とリハビリ》 問診と診断・リハビリ

《成長期のスポーツ障害のマネジメント》 自分で判断することの重要性

《ハンス・オフト氏の教え》 チームドクター・トレーナーの役割、チームでのメディカルマネジメント

《MCL 損傷の診断とリハビリ》

《LCL 損傷の診断とリハビリ》

《ACL 損傷の診断とリハビリ》

《PCL 損傷の診断とリハビリ》

《スポーツ整形外科医に有用な MRI 撮影指示方法》 診断レベルが向上する MRI 撮影指示方法